

自動車用バッテリー・リサイクルシステムの
運用状況について

平成29年9月19日

一般社団法人鉛蓄電池再資源化協会

Lead Acid Storage Battery Recycle Association (SBRA)

1. システムの概要

(1) 対象範囲

○鉛蓄電池再資源化協会（以下、SBRA※¹という）におけるリサイクルシステムの対象となる電池は、自動車（二輪車、農業機械、建設機械等を含む）のエンジン始動用鉛蓄電池が使用済となったもの（以下、使用済バッテリーという）であって、排出事業者から廃棄物としてSBRAに処理を委託されたもの。

※¹ SBRA：Lead Acid Storage Battery Recycle Associationの略称

(2) いきさつ

○近年の輸入電池の増加等を背景として、国内電池メーカー・輸入事業者が共同で、使用済バッテリーの回収・再資源化を行うためのセーフティネットとしてシステムを構築。

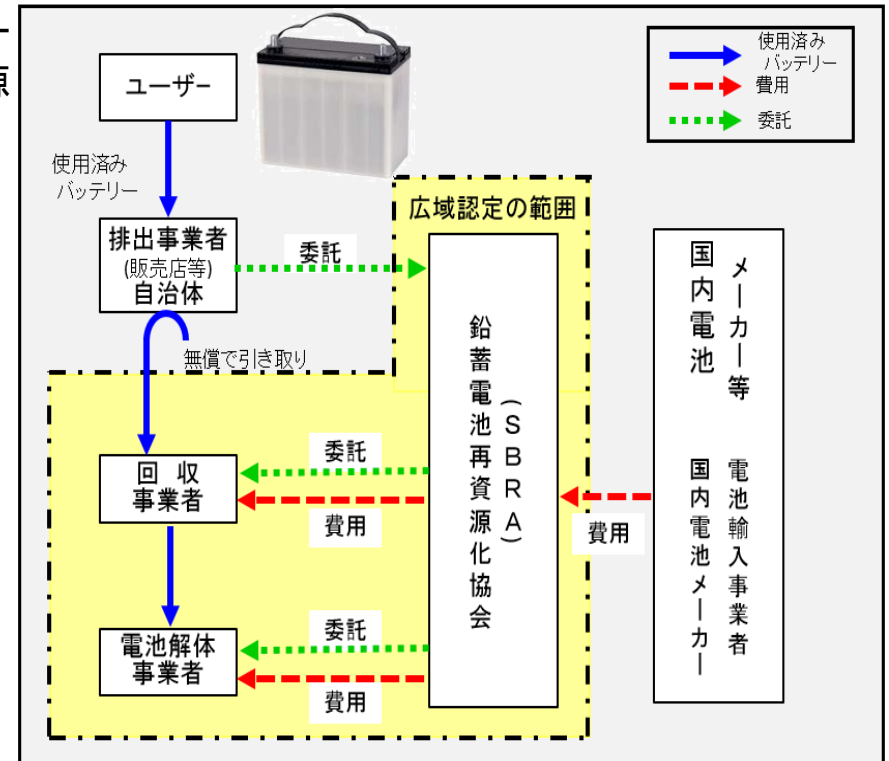
○SBRAが廃棄物処理法の広域認定（産廃及び一廃）を取得。管理票情報システムによる処理の一括管理を実施。

- ・平成24年4月10日 広域認定取得
- ・同年4月11日 限定運用開始
- ・同年7月21日 本格運用開始

(3) 運用体制（平成29年3月末現在）

- ・参加メーカー等：6社※²
- ・排出事業者：8,407件
- ・回収事業者：96社
- ・解体事業者：14社

※² 国内電池メーカー：4社
電池輸入事業者：2社



2. 排出事業者の登録状況

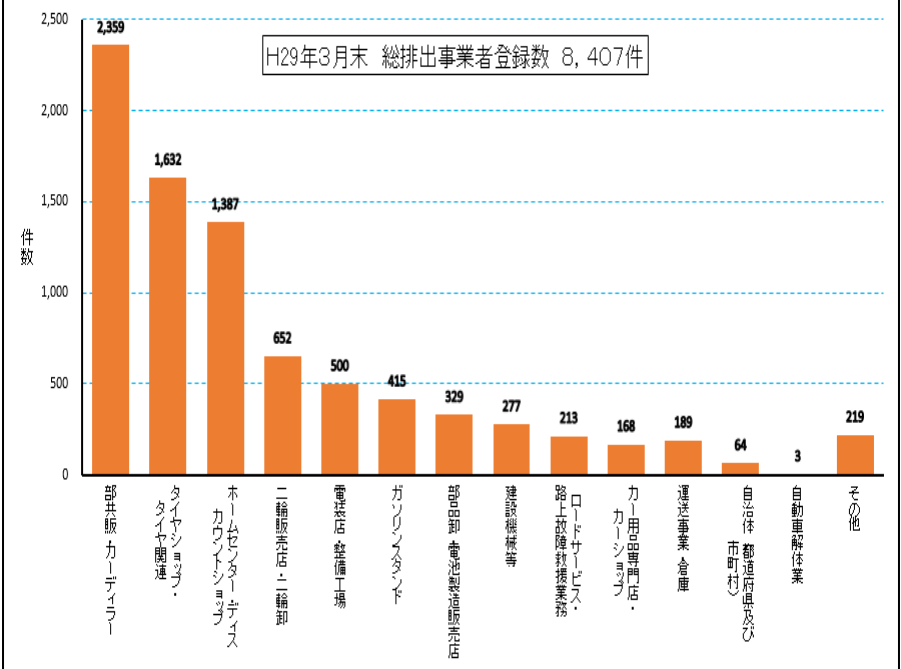
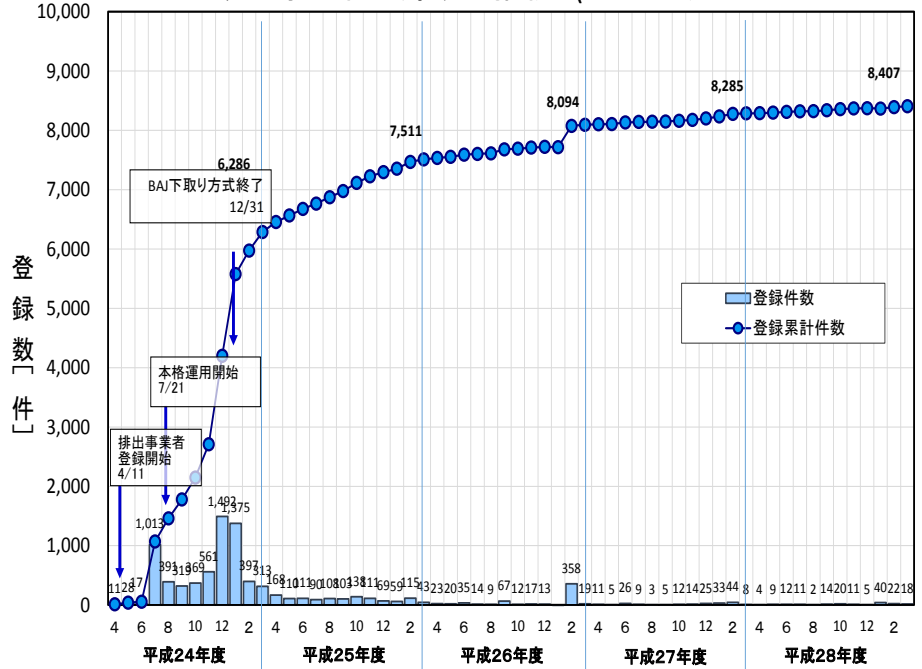
(1) 排出事業者の登録数

- 排出事業者登録数は、H28年度末で8,407件。
前年度から約120件増加。

(2) 業種別の登録数

- 業種別に見ると、部品共販・カーディーラー、
タイヤショップ及びホームセンター等が上位。

2.1 排出事業者登録数の推移 (H29年3月末現在)



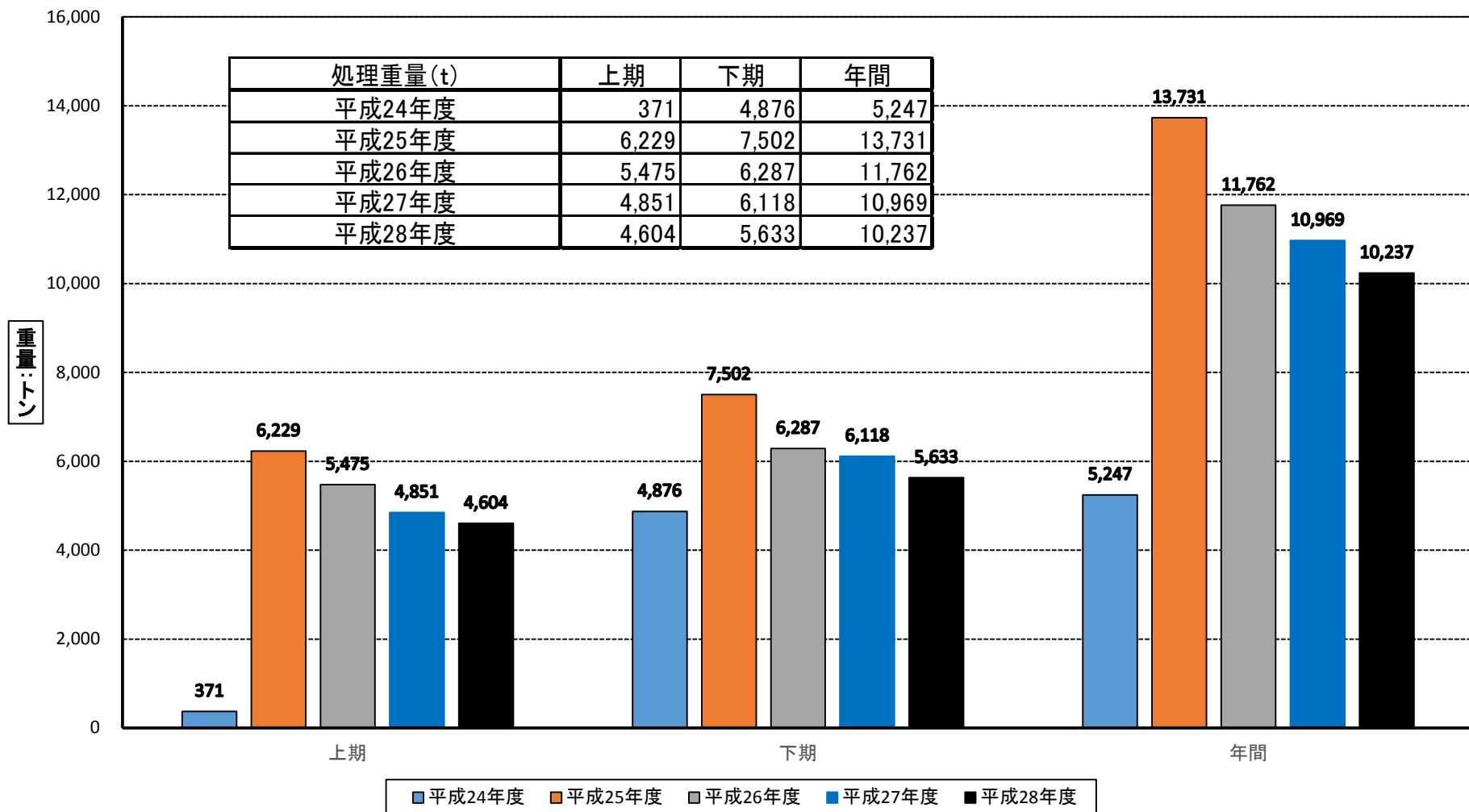
3. 運用実績(前年度との比較)

【SBRAにおける使用済バッテリーの処理実績】

項 目		平成27年度	平成28年度
① 排出事業者数	[件]	8,285	8,407
② 処理件数	[件]	30,911	28,876
③ 処理量	[電池 t]	10,970	10,313
④ 処理費用	[百万円]	458.2	425.0

4. 電池処理重量推移 半期/年間の累計

処理重量実績



5. 今後の取組み

○使用済バッテリーリサイクルのセーフティネットとして、安定して活動が継続できるように維持管理を行う。

（廃棄物処理法の広域認定に基づく適正処理の継続実施）

○システムの適正な維持管理及び継続的な改善を行う。

（協会の管理情報システムの維持/改善等）

○スマートフォン活用による情報入力の迅速対応。

○バッテリーの排出事業者（電装店・卸業者・車両整備工場・運送事業者等）への更なる普及啓発の推進。

以上